

地球シミュレータ運営基本計画

独立行政法人

海洋研究開発機構

本計画は、“地球シミュレータセンター”が「地球シミュレータ」の運用等に係る業務を実施するために必要な基本方針について定めることを目的とする。

1. 「地球シミュレータ」の特色と役割

「地球シミュレータ」は、ベクトル型演算方式を基本ノードとした高度な並列アーキテクチャーを採用しており、その主記憶容量と演算処理速度において運用開始時点(平成14年3月)で世界最大の規模と能力を持つ設備である。

この優れた特色を活かし、地球大気・海洋の変動及び地球内部の変動を定量的に評価・予測し、自然災害からの人類の生命・財産の保全及び気候変動に対する的確な環境・資源管理と適切な経済活動の支援に寄与し、人と自然の共生とそれによる人類の持続的発展に貢献することが「地球シミュレータ」の第一義の役割である。また、「地球シミュレータ」は、これを活用することにより画期的な成果を上げることが期待できる分野に貢献する役割を持つものとする。さらに、迅速且つ的確な地球変動の評価・予測の活動には、物理モデルの開発・改良と同時に、「地球シミュレータ」のハードウェアの特色を最大限活かす高度なベクトル化並びに並列化ソフトウェアの開発を推進する役割が課せられる。

2. 「地球シミュレータ」運営の基本理念

「地球シミュレータ」運営にあたっての基本的な理念は、人間の生活にとって必要不

可欠な問題である地球環境の変化の迅速且つ的確な評価・予測とそれらの科学技術の成果の社会への還元である。

その理念の達成には以下に基づく運営が必要である。

- (1) 利用体制が開かれている。
- (2) 成果の速やかな公開を原則とする。
- (3) 成果及び運用に関する評価を行う。
- (4) 利用は平和目的とする。

3. 「地球シミュレータ」運用の基本方針

(1) 利用計画の策定

関連機関の研究者及び内外の有識者等からなる「計画推進委員会」を“地球シミュレータセンター”に設置し、利用計画の策定を行う。

(2) 課題の選定

「課題選定委員会」を“地球シミュレータセンター”に設置し、策定された「利用計画」に沿って研究課題を審議し、課題を選定する。

(3) 評価の実施

研究成果及び運営組織・体制に関する外部評価システムを海洋研究開発機構に設置し、評価を実施する。

(4) その他

地球シミュレータ運用における具体的事項については、本運営基本計画に則り、“地球シミュレータセンター”が決定する。